

まちの声



今回の「まちの声」、1区19町内にお住まいの「宇南山健次さん」から、お話を伺いました。



Q 町内のみなさんの親睦をどのように深めていますか？

A 私たちの町内では、年間通して6回の行事が取り組まれていきます。春の清掃、交通安全教室、パークゴルフ大会などでレクレーション、共同作業の後に焼き肉の鍋を囲んでの親睦会を行い、誰もが気軽に参加できるように取り組んでいます。

Q 町内として心がけていることは何ですか？

A なかなか読む時間がとれず見出しだけを見て終わってしまいます。議会だよりには議員のみなさんが地域のひと達との対話のなかで出された要求や意見を聞き議会と質問をされているのを知りかると見るようにします。

A 一人暮らしの方の見守りや特定の一人の人にお願するだけでなく町内全員が日常的に自然体で押しつけにならない程度にやっています。例えば「魚釣ってきたので食べて」、「お友達から貰ったので」と声をかけています。また、すべてのみなさんに行事案内を一声かけ参加していただいていること

とです。黙っているのは誰も来ません「私が掛からなかった」となるだけ、町内の団結はこういうところから始まるのかと思います。自分たちのできることを、お金をかけなくてもできることは何かと考えたとき自分たちの生活道路の草刈り、ゴミ拾い、ゴミステーションの周りの冬場の除排雪、消火栓の除排雪など気がついたところからはじめ、町内が清潔で気持ちがいいと思えるように取り組みを心がけていきたいですね。

Q 議会だよりをどのようにしてほしいですか？

A 議会の中でしっかりと町政について議論をしていただきたい。生活にかかわる問題を誰でも聞いてわかりやすく、納得のいく内容を。町の財政が大変と云うけれど、その工夫を町民のみなさんの知恵を出しあって取り組んでいけたら、誰もが「議会だより」に目を向けていけるのではないかと思います。

編集後記

冬支度をする季節となり、町民の皆様方には色々とお忙しいことと存じます。

今年は、勢力の強い台風が、関東・東北地方に甚大な被害をもたらしました。災害により犠牲になられた方のご冥福をお祈りいたします。また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて妹背牛町議会も16年ぶりの選挙戦となり、10名が町民の審判を受け議員となりました。それに伴い議長・副議長又、各委員会構成も決定し議会も新たにスタートを切りました。定例会では8名が一般質問を行い、10月の下旬には決算審査特別委員会が開催されました。

私たち広報特別委員3名は初めての広報活動であり最初の議会だよりです。町民の皆様方にもご協力をいただきながら、わかりやすく議会活動をお届けできるようにと思っております。お気づきの点やご意見・ご要望などがありましたらお知らせ下さい。

また、たくさんの方が議会傍聴頂ける事を望んでおります。

町民の皆様には寒い日が続いていきますので、体調を崩さぬようお過ごしください。

広報特別委員会

- 委員長 佐々木和夫
- 副委員長 田中 春夫
- 委員 渡辺 倫代